

# 電気火災にご注意



赤羽消防署管内で、**電気火災が増加しています！！**

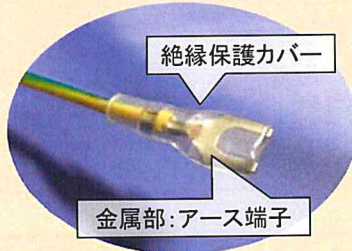
日常的にコンセントなど身の回りの**電気製品の確認や清掃**をお願いします。  
特にレイアウト変更する際や営業を再開する際に、**注意してください！**

## 挟み込みによる火災事例



アース端子の挟み込み

アース端子には  
**絶縁保護カバー**をつけましょう！



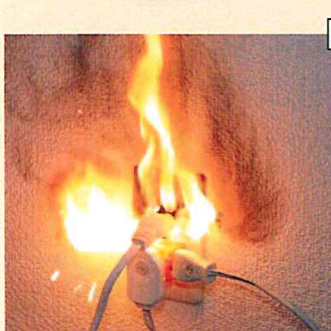
ヘアピンの挟み込み

延長コードや電気機器の差込みプラグ（突起がついた部分）を、コンセントやテーブルタップに差込む際、外れかけたコンセントカバー（プレート）、アース端子、ヘアピンなどを挟み込んでしまい、ショート（電気が決められた道順を通らずに近道すること）することで火災が発生しています。

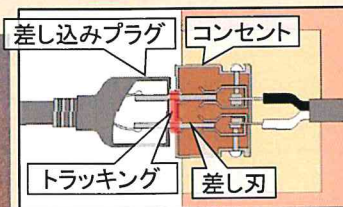
### 今すぐ確認！出火防止のポイント

- ☑ コンセントにプラグを接続する際に、巻き込みや挟み込みに注意しましょう。
- ☑ コンセントカバーに、ひび割れや取り付けのゆるみがないか確認しましょう。
- ☑ 使用していないアース端子には、絶縁保護カバーをつけましょう。

## トラッキングによる火災事例



トラッキングによる出火事例



両差し刃が溶断



トラッキング防止対策プラグ

コンセントに差し込んだプラグの差し刃の間に付着したほこり等に湿気が加わることで、差し刃の間に電気の通り道ができる**トラッキング現象**により、火災が発生しています。

### 今すぐ確認！出火防止のポイント

- ☑ 定期的に差し込みプラグを抜いて清掃しましょう。
- ☑ トラッキング防止対策が施されたプラグを使用しましょう。
- ※ 現在はプラグにトラッキング防止対策が施された製品が販売されています。



## 電気コードの劣化による火災事例



コードの電線が熱で溶融



家具類の下敷き状態



折り曲げた状態での使用

経年劣化などにより、コードの電気が流れる部分が露出した際や、コードを構成する電線の一部が断線し（半断線）その部分が発熱した際に、火災が発生しています。

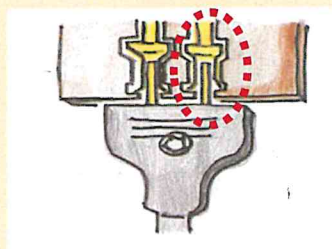
### 今すぐ確認！出火防止のポイント

- ☑ 電気コードを家具等の下敷きにしないようにしましょう。
- ☑ 電気コードを束ねたり、折り曲げた状態で使用しないようにしましょう。
- ☑ 差し込みプラグを抜き差しする際、コード部分を持ち引っ張らないようにしましょう。
- ☑ コードの接触不良や目に見える破損、異常な発熱がある際は、交換をしましょう。

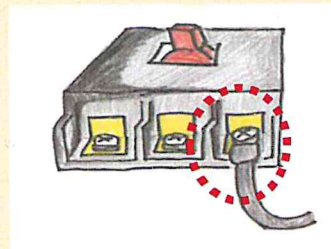
## 接触不良による火災事例



片方の差し刃が焼損



コンセントのゆるみ



ビスのゆるみ

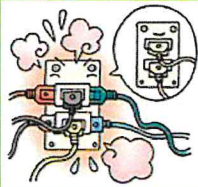
配線又は電気機器の接続部のゆるみや異常な力の加わりにより電気の流れ道の接触不良が発生し、その部分の発熱により火災が発生しています。

### 今すぐ確認！出火防止のポイント

- ☑ コンセントの抜き差しは、負荷をかけないよう丁寧にし、奥まで差し込みましょう。
- ☑ 差し込みが緩いコンセントは交換しましょう。
- ☑ ビスのゆるみなど異常がみられた際は、専門の業者に点検を依頼しましょう。

久しぶりに使うコンセントやテーブルタップはありませんか？  
点検・掃除をしてから使用しましょう！

## TOPIC



### タコ足配線をしていませんか？

コンセントやコードは、**使用できる電流量に制限**があります！  
表示されている電流量を確認して使用しましょう！！



### 電気製品のこげ跡を見つけて心配になったら



東京消防庁版  
電気製品火災相談ガイド



問い合わせ先

赤羽消防署 予防課 調査担当  
電話 03-3902-0119 (内線 610)